



平成 21 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 ティアック株式会社
代表者名 取締役社長 英 裕治
(コード番号 6803 東証第 1 部)
問合せ先 I R グループマネジャー
水石 和夫
(TEL 042-356-9178)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり業績予想および配当予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期 通期業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 11 月 10 日発表)	55,000	1,800	700	300	1 円 04 銭
今回発表予想 (B)	50,000	1,200	100	100	0 円 35 銭
増減額 (B-A)	△5,000	△600	△600	△200	——
増減率 (%)	△9.1	△33.3	△85.7	△66.7	——
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	61,862	2,362	1,307	1,332	5 円 59 銭

(2) 個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 11 月 10 日発表)	42,000	1,400	700	200	0 円 69 銭
今回発表予想 (B)	38,000	900	100	△200	△0 円 69 銭
増減額 (B-A)	△4,000	△500	△600	△400	——
増減率 (%)	△9.5	△35.7	△85.7	—	——
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	47,433	1,374	734	1,046	4 円 29 銭

2. 業績予想の修正の理由

金融危機に端を発する国内、海外の景気の急速な減速と大幅な円高の進行が第3四半期の業績に影響したこと、また第4四半期もこの経済環境が続くことが予想されます。当社はこれらの影響を考慮し、業績予想の見直しを行った結果、連結、個別の通期の売上高、営業利益を下方修正いたします。また、外貨建て債権債務について、大幅な円高に伴う為替差損の発生に伴い、営業利益に加えて経常利益および当期純利益も減少となることが予想されることから、連結、個別の通期の経常利益、当期純利益についても下方修正いたします。なお当社は、現在の経済環境下での業績の下振れを最小限にするため、役員報酬および管理職給与の削減幅の拡大、また販売費・管理費等の緊急コスト削減等を実施していますが、その施策効果につきましては業績予想に織り込んでいます。

(注)

為替レート的前提：1米ドル=90.00円、1ユーロ=120.00円。

外貨建て債権債務は、第3四半期末日レートからの為替変動により評価差損益が発生しますが、業績予想数値には上記の前提為替レートにより発生が予想される評価差損益を、営業外費用として織り込んでいます。

当社の為替変動による業績への影響額は、概ね以下のように見積もられます。

- ・米ドルの場合、1円の為替変動に対して、営業利益では影響は僅少ですが営業外損益にて変動時に約1千万円の評価差損益が発生します（円高の場合は為替差損が発生）。
- ・ユーロの場合、1円の為替変動に対し、営業利益で半期約1千万円、営業外損益にて変動時に約1千万円の評価差損益が発生します（円高の場合は営業利益が減少し為替差損が発生）。

なお、この影響額の情報はあくまで現時点で見積った概算であり、外貨建て取引の増減および為替予約の状況により変化します。

3. 配当予想の修正について

金融危機に端を発する国内、海外の景気の急速な減速と大幅な円高の進行に伴う業績の悪化により、従来未定としておりました期末配当および年間配当につきましては、まことに遺憾ながら無配とさせていただきます。

<業績等の予想に関する注意事項>

- ※上記の予想は、現時点で得られた情報に基づいて作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

以上